

「常設」じゃない！ MOMAT コレクション

会期：2025 年 11 月 5 日（水）～2026 年 2 月 8 日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4～2 階

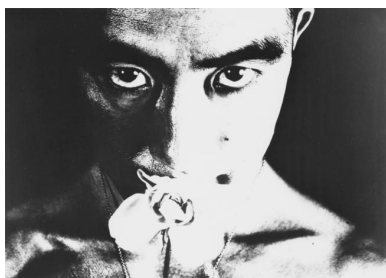
今回もフレッシュ！2025 年 11 月 5 日（水）～2026 年 2 月 8 日（日）のおすすめは、小説家・三島由紀夫の生誕 100 年に合わせた「細江英公「薔薇刑」」、
「もの派」の代表的作家の一人、榎倉康二を取り上げる「没後 30 年 榎倉康二」です。
奈良美智《Harmless Kitty》の約 2 年ぶりの展示（4F ハイライト・コーナー）や、
1 階企画展ギャラリーで開催する「アンチ・アクション」展と関連した企画もお見逃しなく。
所蔵作品展は、一度出品されたらしばらく見られない作品がほとんどです。
近代美術史を見通しながらいつも新鮮なトピックに触れられる MOMAT コレクションを
ぜひお楽しみください。



[1] 奈良美智《Harmless Kitty》1994 年
© Yoshitomo Nara

今期のおすすめその1 細江英公「薔薇刑」（3F 9 室）

本年（2025 年）は、小説家の三島由紀夫の生誕 100 年にあたります。昨年他界した細江英公の初期の代表作「薔薇刑」は、三島の肉体とその特異な美意識をモチーフに、生と死、性愛など、人間の根源的なテーマに迫ろうとした写真作品です。三島からの撮影依頼に細江は大胆な演出で応え、足掛け二年にわたった撮影は 63 年に写真集『薔薇刑』としてまとめられました。



[2] 細江英公《薔薇刑 作品 32》1961 年

みどころ

- 三島由紀夫生誕 100 年を記念する企画が全国各地で開催中。文学ファンにもおすすめの展示です。
- 半裸の三島に水まき用のゴムホースを巻きつけるなど思い切った演出で、肉体美を誇示する三島の内面に迫った細江の手腕に注目。

今期のおすすめその2 没後 30 年 榎倉康二（2F ギャラリー 4）

1960 年代末から 70 年代にかけて台頭した若い作家たちは、しばしば「もの派」と呼ばれます。控えめな行為を通して思考を促すこの美術動向を代表する一人が、榎倉康二（1942-95）です。「浸透」や「接触」といった物理現象に着目する作品は、後続世代にも大きな影響を与えました。榎倉に師事した白井美穂、豊嶋康子の作品とともに、榎倉の活動を振り返ります。



[3] 榎倉康二《干渉 (STORY-No.18)》1991 年
撮影：大谷一郎

みどころ

- 立体作品、平面作品、写真など多岐にわたる榎倉康二の収蔵作品を展示し、解説を収めたリーフレットも配布します。
- 近年新たに収蔵した白井美穂、豊嶋康子の作品をお披露目します。

今期のおすすめその3

アクション前夜（3F 7 室）

「…アクション！」&「…カット！」（3F 8 室）

1 階で開催の「アンチ・アクション」展が着目する 1950～60 年代の日本の美術動向をたどります。
1 階と合わせて観ることで、展覧会の体験がさらに豊かに。
歴史を相対的に見る観点を得られるのは、幅広い当館のコレクション展ならではの強みです。



[4] 篠田桃紅《風》1972 年

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel：03-3214-2565（直通） Email：pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」（しょぞうさくひんてん もまっとこれくしょん）

（英）Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2025 年 11 月 5 日（水）～ 2026 年 2 月 8 日（日）

休館日：月曜日（ただし 11 月 24 日、1 月 12 日は開館）、
11 月 25 日、12 月 28 日～ 1 月 1 日、1 月 13 日

開館時間：10:00～17:00（金曜・土曜は 10:00～20:00）※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500（400）円／大学生 250（200）円

※（ ）内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金（一般 300 円、大学生 150 円）

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者（1 名）は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b 出口）徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」

2025 年 12 月 16 日（火）～ 2026 年 2 月 8 日（日）

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/566>

*「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」の観覧料で、
入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4 「コレクションによる小企画」も
ご覧いただけます。



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。
最大の特徴は重要文化財 18 点（うち 2 点は寄託）を含む
14,000 点近い国内最大級のコレクション。19 世紀末から今日まで、
日本の近現代美術を中心とする多数の名作を所蔵しています。
都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室
「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューを
お楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に
所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ
十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、
みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel：03-3214-2565（直通） Email：pr-f@momat.go.jp

